

# こいけ 正 昭 小池まさあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 2月県議会一般質問 成田市特集

### 第3滑走路実現求める署名活動 知事「地元の熱意の表れと受け止め注視」

小池議員 日本最大の国際空港である成田空港を持つという千葉県の優位性は図り知れない。しかし、羽田空港の再国際化が本格的に進められたために、成田空港は日本人の国際線旅客が落ち込み、その傾向は特に顕著になっている。

このような状況の中で、経済団体が中心になり、流れを変えて積極的に声を出すという運動が展開され、空港自治体連絡協議会では選ばれる空港として現状の課題を知るために、各航空会社から直接、意見を聞き取り組みも始まっている。



本会議で一般質問を行う小池正昭県議

## 「成田空港をアジアのハブ空港に」

小池議員 空港圏自治体連絡協議会が航空会社からヒアリングを行っているが、どのような意見が出ているのか。総合企画部長 成田空港に就航する航空会社9社からヒアリングを行っています。

### 航空会社が意見

訪日・乗り継ぎ需要の獲得を目指す「アジアの他のハブ空港に対抗すべく、ともに協力し、首都圏空港としてアジアのハブ空港を目指す」などが述べられています。小池議員 国の「首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会」における検討状況と今後の見通しはどうか。

### 小池まさあきプロフィール

○経歴○

- 昭和41年9月 成田市生まれ 三里塚小、遠山中、千葉日大一高、日本大学理工学部卒 同大学院理工学研究科修了
- 平成7年4月 成田市議会議員 初当選(4期連続当選)
- 平成21年6月 成田市議会議員 長
- 平成23年4月 県議会議員 初当選

○現職○

- 県議会 県土整備常任委員会 委員長

富でバランスの良い国際線ネットワークを有する成田空港が、引き続き大きな役割を果たすべきものと考えます。空港の機能強化には地元

の理解が不可欠ですが、この署名活動は、経済界を端緒とする地元の熱意の表れであると受け止めており、今後、空港周辺市町も含めた地元の総意としての合意が得られた形となるか、注視しているところです。

現在、首都圏空港の機能強化の必要性について、関係者の共通の理解が得られたところであり、今後、議論の中心は、成田空港の将来像や機能強化の手法に移っていくものと考えています。

「未来への責任を果たします」と、ふるさと成田の発展に力を注いでいる小池正昭県議は2月県議会で一般質問を行い、成田空港、成田市の国際医療学園都市構想、農業水利施設などで知事や県の担当者に現状や施策を

質しました。羽田空港の再国際化に伍するための成田空港機能強化の取り組みを質問、その上で成田空港の重要性をもっと発信して欲しいと要望しました。小池県議の質疑と知事、担当者の答弁を特集します。

## 成田空港の機能強化

# 知事のロータリーマンは県民と強く発信を

要望 小池議員 成田空港について、地元は先ほど申し上げた通り、ぜひと流れが変わってきた。県に期待する声が非常に大きい。ぜひ、知事のリーダーシップで県に引っ張って行ってもらいたい。成田空港が重要なんだということをもっと発信して欲しいという地元の声があることを最後に強く申しあげます。

小池議員 ノンストップゲート化についてだが、鉄道駅での実証実験の効果はどうだったのか。警察本部長 成田国際空港株式会社により、平成25年3月から2カ月間、第2旅客ターミナルビル駅の入場ゲートなどにおきまして、顔を識別できる監視カメラとゲート式爆発物探知装置を設置した実証実験を行ったと伺っております。

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

# 小池まさあき 県議事務所

〒286-0025 成田市東町155-3

TEL.0476(22)0688

●メールもお気軽にご利用下さい。 koike@ngy.3web.ne.jp

# 国際医療学園都市構想は進むのか？

## 国家戦略特区成田市分科会 医学部新設を協議



県会議場の自席で再質問を行う小池正昭県議

はどうかしているのか。また、県としてどのように対応しているのか。

**保健医療担当部長** 国家戦略特区では、指定を受けた地域ごとに区域会議を設け、事業の実施に関し必要な検討を行っているところですが、昨年12月、その下部組織として、成田市における医学部新設の検討などを行う「成田市分科会」が設置されました。

**小池議員** 成田市は国際医療福祉大学と共同で国際医療学園都市構想を、また市単独で成田国際空港を活用したエアポート都市構想を提案し、昨年5月、国が全国6カ所の国家戦略特別区域のうち、東京圏の一部として成田市を区域決定した。そこでうかがうが、医学部新設に関する議論の状況

これまで2回開催された分科会では、共同提案者である成田市・国際医療福祉大学のほか、関係省庁や有識者らと交えて、日本の医師養成の現状・課題、医学部新設の必要性などについて議論されました。県としては、この分科会にオブザーバーとして参加しているほか、成田市などと必要な情報交換を行って

いるところです。

**要望** 小池議員 国家戦略特区については、県として今後の検討を見守っていきたくのでよろしくお願います。

**小池議員** 医学部新設に対する県の見解はどうか。

また、仮に新設が決定された場合に、県はどのように対応するのか。

**保健医療担当部長** 医学部の新設については、現在、内閣府が設置している区域会議などにおいて検討されているところであり、その

**小池議員** 観光行政についてだが、県内における外国人宿泊客数の状況と推移はどうか。また、主なホテル群の客室の稼働状況はどうか。

**観光振興部長** 国の宿泊旅行統計調査によると、平成25年の外国人宿泊者数は、円安やビザ要件の緩和、ア

### 県内の外国人宿泊者数 平成25年 延べ204万人に

ジア各国の経済成長などを背景に、全国的に大きく伸びており、本県でも延べ約204万人と、平成24年の179万人から1割以上増加しました。平成26年については、震災や政治問題の影響から一時落ち込んでいた中国が、

震災前の水準まで回復したほか、知事によるトップセールスを行った台湾、タイ王国、マレーシアが大きな伸びを示し、1月から9月までの9か月間で、前年1年間とほぼ同数の203万人に達しています。また、同じ調査による最

近の宿泊施設の客室稼働率は、県全体では6割強ですが、外国人宿泊者の多い千葉市、成田市については、概ね8割前後で推移しています。

**小池議員** 今後、首都圏の宿泊施設が不足すると思われるが、県としての見解とその対策をどう考えているのか。また、増加する訪日外国人を本県に誘導するための取り組みについて、どう考えているのか。

**観光振興部長** 2020年に向けて一層の増加が見込まれる訪日外国人観光客

議論を見守っていきたくと考えています。また、医師や看護師などの確保にあたり、引き抜きなどで地域医療に支障をきたすことのないよう、地域の関係者を含めて、十分な

協議をしながら検討を進めていく必要があると認識しています。なお、医学部新設への支援については、今後の議論などを踏まえつつ、必要な検討を行っていきたくと考えています。

**小池議員** 教育行政についてうかがう。本年度、成田国際高校はスーパーグローバルハイスクールアソシエイト校として、どのような取り組みを行ったのか。

さらに、他県のスーパーグローバルハイスクール指定校が主催した模擬国連プログラムに参加するなど、グローバル人材育成のために様々な取り組みを行っております。

### 農業水利施設 改修必要118施設

**小池議員** 県下の農業水利施設についてうかがう。老朽化の現状と改修計画はどうか。また、不測の事態が生じた場合はどう対応するのか。

められたところです。

**農林水産部長** 土地改良事業で整備した、県内の基幹的な農業水利施設は934施設あり、この内の約半数が耐用年数を超過していますが、個々の施設について老朽化の度合を診断した結果、118施設について、改修などの対策が必要と認

また、施設の機能維持には、管理者による定期的な点検と維持補修が重要であることから、関係機関に周知徹底を図ってきたところですが、

不測の事態が生じた場合には、国の制度などの活用により緊急的な補修工事を実施

を、本県はじめ首都圏全体で受け入れていくことは、オリンピック・パラリンピックの成功とともに、本県観光の振興のために、大変重要であると認識しています。

このため、東京都内や成田・羽田両空港から県内観光地への交通ネットワークの一層の充実や、新たな周遊ルートの提案などにより、外国人観光客が各地域に分散して滞在できるよう、誘導を図ってまいります。